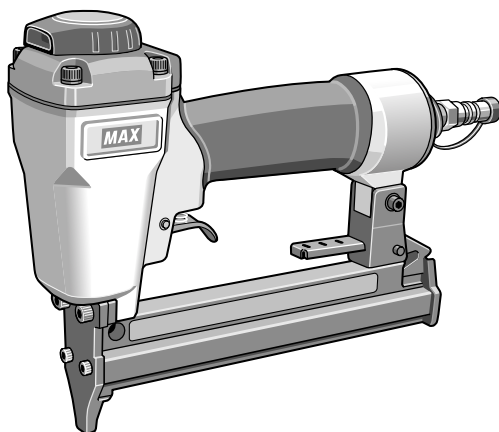
マックス釘打機 エアネイラ

TA-225LU/4J
TA-225LU/10J

取扱説明書

⚠ 警告

本機は、トリガを引くだけでステープルが発射される機構になっております。下記の警告事項を厳守してください。

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- ●打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- ●射出口を絶対に人体に向けない。
- ●移動する時、使用しない時、調整・修理・ステープル装填の時は必ずエアホースをはずす。
- ●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- ●揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

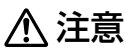
＊便利メモ

お名前		商品名	TA-225LU/4J・TA-225LU/10J
お買い上げ日	年　　月　　日	製造番号	
販売店名	☎（　　　）　ー		

このたびは、マックス釘打機エアネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

●LUシリーズは、リフォーム等軽作業用に開発されたプロ用商品です。
●ステープル打ちをメイン作業とされる方は、TA-225/425J、TA-225/1025J、HA-R25/425J、HA-R25/1025J、TA-35の各シリーズをお買い求めください。

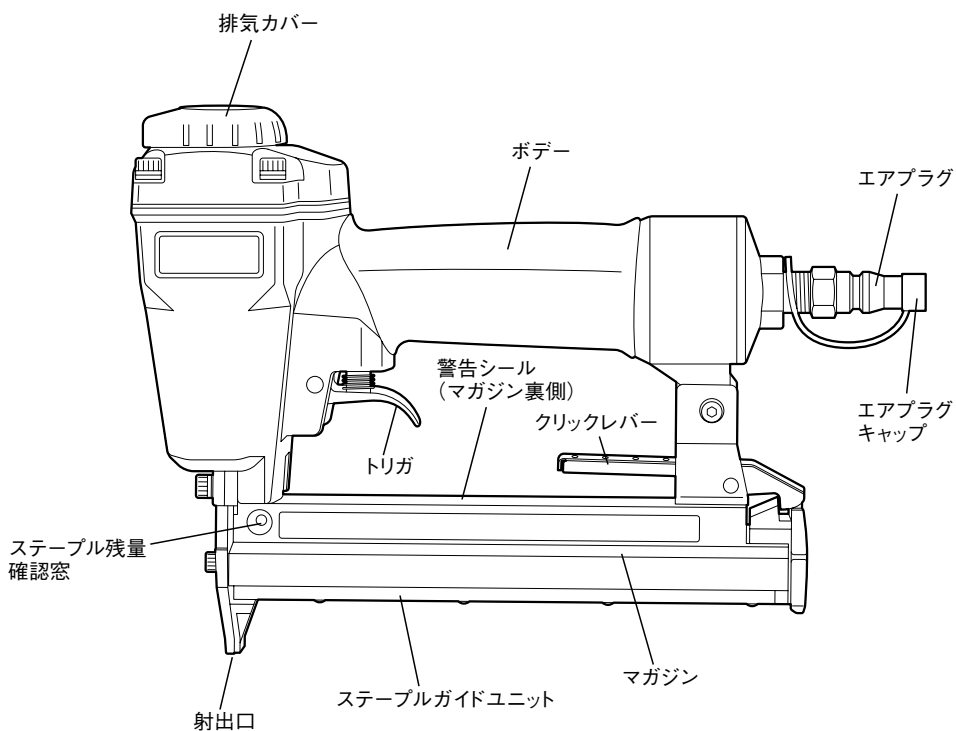
■表示について

	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目　次

1 各部の名称

排気カバー
ボデー
エアプラグ
警告シール
（マガジン裏側）
クリックレバー
エアプラグ
キャップ
トリガ
ステープル残量
確認窓
マガジン
ステープルガイドユニット
射出口

⚠安全作業のために

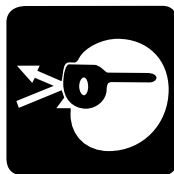
本機は、射出口が薄く小さいことが要求される用途向けとして造られており、トリガを引くだけでステープルが発射される機構になっております。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

⚠警告

❶使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

ステープル打ち作業をする時、打ち損じのステープルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

❶

❷防音保護具を着用する。

ステープル打ち作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

❷

❸作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

❸

⚠安全作業のために

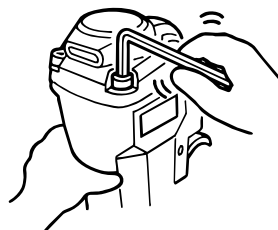
⚠警告

❹エアホース接続前に必ず点検する。

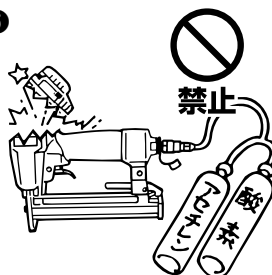
エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1.ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2.各部部品が外れていたり、傷んでいないか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱へ点検・修理に出してください。

❹

❺エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

❺

❻エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1.トリガに指をかけない。
2.射出口を人体に向けない。

❻

⚠安全作業のために

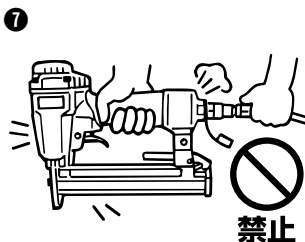
⚠警告

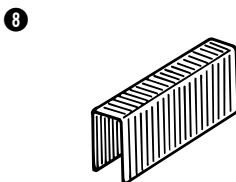
❼エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはステープルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1.エアホースを接続しただけで作動音がしないか。

2.エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱に点検・修理に出してください。

❽指定ステープルを必ず使用する。

指定されたステープルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のステープルをご使用ください。（10ページ参照）

❾作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

⚠安全作業のために

作業中

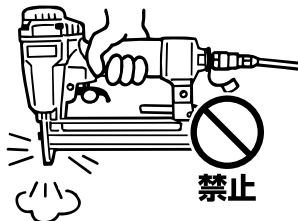
⚠警告

❶使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は0.5～0.7MPa（約5～7kgf/cm²）です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.7MPa（約7kgf/cm²）を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

❶

❷打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

本機は、トリガを引くだけでステープルが発射されます。ステープルを打つ時以外はトリガに指をかけないでください。誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、ステープルを打つ時は射出口を確実に対象物に当ててからトリガを引いてください。

❷

❸射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたステープルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

❸

❹向い合わせのステープル打ちは絶対にしない。

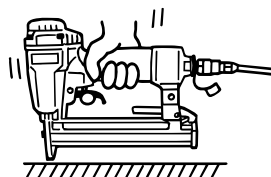
向い合ってステープル打ち作業をすると、打ち損じたステープルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせのステープル打ちは絶対にしないでください。

❹

警告

❺射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったステープルや木の節などに当たった場合ステープルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

❺

❻揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとステープル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

❻

❼移動する際は、必ずエアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガに指をかけたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずエアホースをはずしてください。

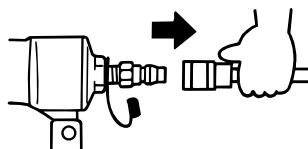
❼

❽作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のステープル装填、調整及びステープルづまりを直すときは誤ってステープルを発射すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

❽

⚠安全作業のために

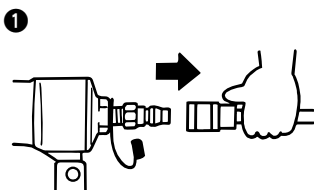
⚠警告

❾異常を感じたら絶対に使用しない。

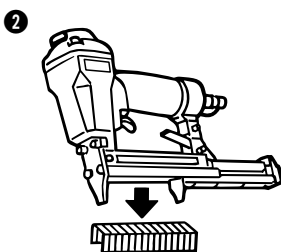
作業中に本機の調子が悪かったり､異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱に点検・修理に出してください。

作業後

⚠警告

❶作業終了時には必ずエアホースをはずす。

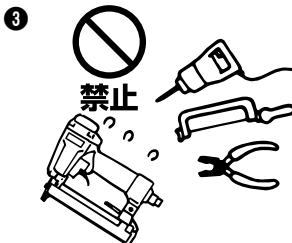
作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

❷作業終了時には必ずステープルを抜き取る。

ステープルをマガジン内に残しておくと、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながることがあります。作業終了時には必ずマガジン内のステープルを抜きとってください。

❸本機を絶対に改造しない。

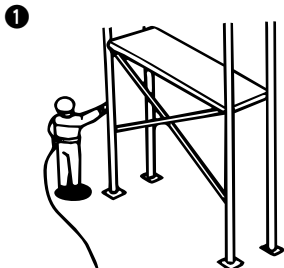
本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

2 ⚠安全作業のために

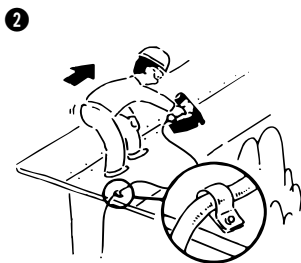
屋外作業について

⚠警告

❶足場の安全性を充分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

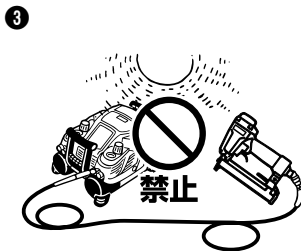
❶

❷エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

❷

❸直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

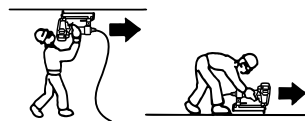
❸

打ち方

❹水平面のステープル打ち

前進姿勢でステープル打ち作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

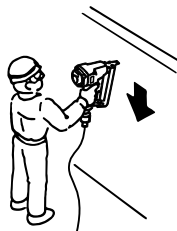
❹〔水平面〕

⚠安全作業のために

⚠警告

❺垂直面のステープル打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へステープル打ち作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

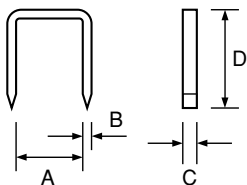
❺〔垂直面〕

❻傾斜面のステープル打ち

下から上に向かって前進姿勢でステープル打ち作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

❻〔傾斜面〕

仕様及び付属品

商　品　名	マックス釘打機エアネイラ	
商品記号	TA-225LU/4J	TA-225LU/10J
バルブ機構	ヘッドバルブ方式	
ステープル送り機構	プッシャバネ送り方式	
マガジン形式	アンダーローディング方式	
寸　法	（H）184 ×（W）58 ×（L）247 mm	
質　量	1.1kg	
ステープル装填数	100本（1連）	
使用空気圧範囲	0.5～0.7MPa（約5～7kgf/cm²）	
使用ホース内径	内径6mm以上	
使用オイル	タービン油2種 ISO VG32（JIS K 2213）	
付　属　品	六角棒スパナ4mm、六角棒スパナ3mm、ジェットオイラ（油入）、保護メガネ	
使用ステープル	410J 413J 413J-S 416J 416Jシロ 416J-S 419J 419Jシロ 419J-S 419J-Sシロ 422J 422Jシロ 422J-S 422J-Sシロ 425J 425Jシロ 425J-S 425J-Sシロ	1010J 1010J-AL 1010J-S 1013J 1013J-S 1016J 1019J 1019Jシロ 1019J-S 1022J 1022Jシロ 1022J-S 1025J 1025Jシロ 1025J-S

〈ステープルサイズ〉

（単位：mm）

ステープル	A	B	C	D	先端形状
410J	4	0.6	1.2	10	
413J	4	0.6	1.2	13	
413J-S	4	0.6	1.2	13	
416J	4	0.6	1.2	16	
416Jシロ	4	0.6	1.2	16	
416J-S	4	0.6	1.2	16	
419J	4	0.6	1.2	19	
419Jシロ	4	0.6	1.2	19	
419J-S	4	0.6	1.2	19	チゼルポイント
419J-Sシロ	4	0.6	1.2	19	
422J	4	0.6	1.2	22	
422Jシロ	4	0.6	1.2	22	
422J-S	4	0.6	1.2	22	
422J-Sシロ	4	0.6	1.2	22	
425J	4	0.6	1.2	25	
425Jシロ	4	0.6	1.2	25	
425J-S	4	0.6	1.2	25	
425J-Sシロ	4	0.6	1.2	25	

（単位：mm）

ステープル	A	B	C	D	先端形状
1010J	10	0.6	1.2	10	
1010J-AL	10	0.6	1.2	10	
1010J-S	10	0.6	1.2	10	
1013J	10	0.6	1.2	13	
1013J-S	10	0.6	1.2	13	
1016J	10	0.6	1.2	16	
1019J	10	0.6	1.2	19	
1019Jシロ	10	0.6	1.2	19	
1019J-S	10	0.6	1.2	19	チゼルポイント
1022J	10	0.6	1.2	22	
1022Jシロ	10	0.6	1.2	22	
1022J-S	10	0.6	1.2	22	
1025J	10	0.6	1.2	25	
1025Jシロ	10	0.6	1.2	25	
1025J-S	10	0.6	1.2	25	

使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

【ステープルの装填方法】

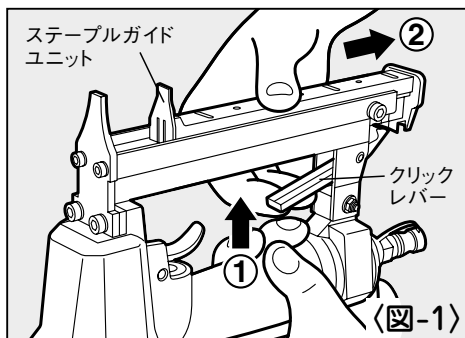
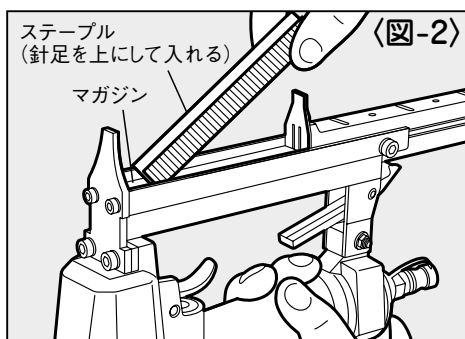
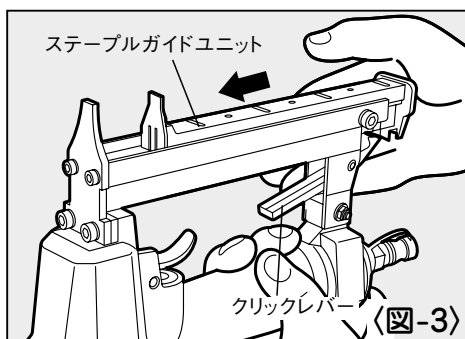
⚠ 警告

●ステープルを装填する時は、必ずエアホースをはずす。

手順

❶エアホースをはずします。

❷クリックレバーをはずします。

❸ステープルガイドユニットを引き出します。〈図-1〉

❹ステープルの足を上にしてマガジン内に入れます。〈図-2〉

❺ステープルガイドユニットを押し、クリックレバーを確実にセットします。〈図-3〉

【打ち方】

⚠警告

●打つ時以外は絶対にトリガに指を<u>かけない。</u>

本機は、トリガを引くだけでステープルが発射されます。ステープルを打ち込む時以外はトリガに指をかけないでください。誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。ステープルを打ち込む時は射出口を確実に対象物に当ててからトリガを引いてください。

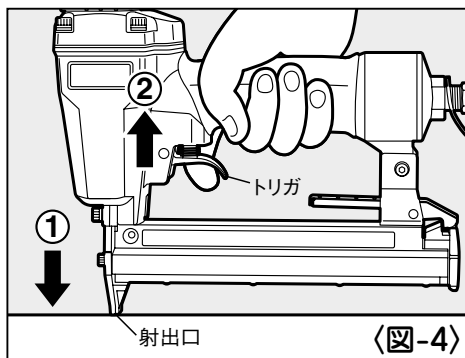
●射出口を絶対に人体に<u>向けない。</u>

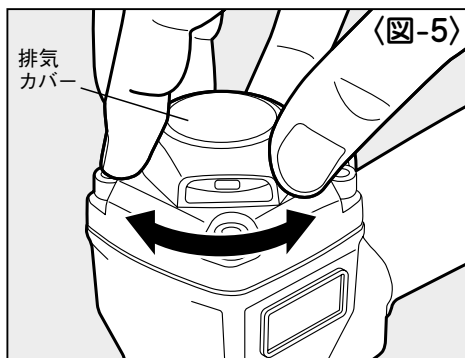
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたステープルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

手順

❶ステープルを打とうとする場所に射出口を当てます。

❷トリガを引きます。〈図-4〉

〈図-4〉

【排気穴の変え方】

シリンダキャップ部の排気カバーを手で回すことにより、排気方向を変えることができます。〈図-5〉

〈図-5〉

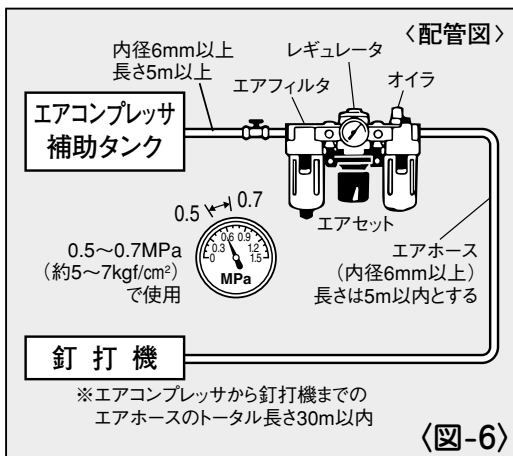
配管についての注意

⚠ 警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

❶動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）は絶対に使わないでください。

❷エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。

❸エアホースは内径6mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径6mm以上、長さ5m以内で使用してください。〈図-6〉

〈図-6〉

エアホースの接続

⚠警 告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

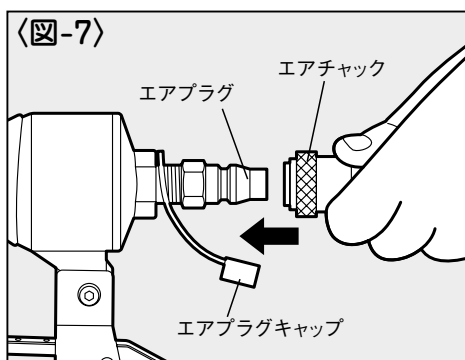
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1.トリガに指をかけない。

2.射出口を人体に向けない。

手順

❶エアプラグからエアプラグキャップをはずします。

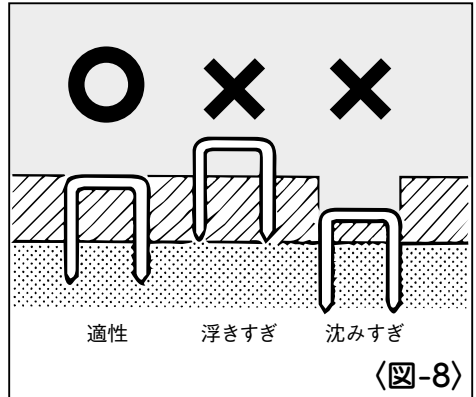
❷エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。〈図-7〉

⚠警 告

●作業中断時は必ずエアホースをはずす。

7 使用空気圧と打込状態の確認

本機を使用する場合、打込対象部材の硬さにより使用空気圧を設定しますが、通常は0.6MPa(約6kgf/cm²)に圧力をセットします。作業中ステープル頭が浮いたり、沈みすぎたりした場合は、エアセットのレギュレータでステープル頭が打込対象部材に対し面一になるように圧力調整してください。

〈図-8〉

〈図-8〉

打込対象部材の硬軟、使用するステープルの長短で多少圧力がちがいますので作業前にテスト打ちを行なって圧力調整をしてください。

⚠ 警告

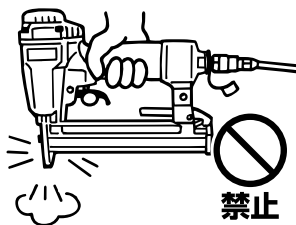
●0.7MPa(約7kgf/cm²)を超えた圧力では絶対に使用しない。

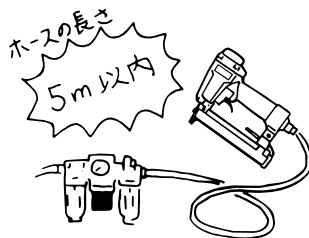
8 性能を維持するために

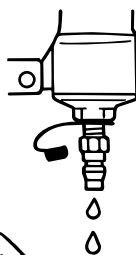
❶本機を大切に使う

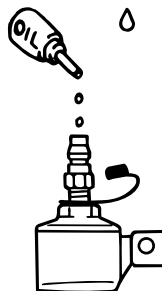
落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。

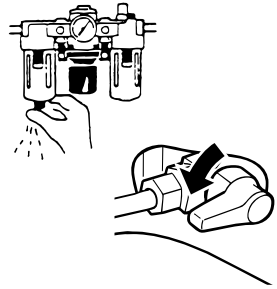
❷カラ打ちをしない

ステープルを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

❸エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。

❹本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。

❺指定オイルを注油する

オイルはタービン油2種 ISO VG32（JIS K 2213）を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2～3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。

❻エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

❼定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱にお申しつけください。

アフターサービスについて

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱にご相談ください。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8121㈹

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）236-4121㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL（019）621-3541㈹
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL（0256）34-2112㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8118㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL（029）255-3761㈹
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL（027）210-7755㈹
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL（0263）26-4377㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL（04）7132-1500㈹
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL（043）422-7400㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8531㈹
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL（054）237-6116㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6444-2035㈹
京滋営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL（075）645-5061㈹
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6－2－4	TEL（078）367-1580㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）411-5416㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL（099）269-5347㈹

販売関係会社

埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）651-5341㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL（045）364-5661㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL（042）528-3051㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL（076）240-1873㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL（087）866-5599㈹

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL（027）350-7820㈹
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）667-6448㈹
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）231-6487㈹
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）237-0778㈹
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8210㈹
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6446-0815㈹
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-5670㈹
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）451-6430㈹

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**

月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

4008600
100406-00/00